



情報流通行政局衛星・地域放送課
地域放送推進室高度化推進係長

羽間 朗
HAZAMA AKIRA

平成 23年 4月 総務省採用
総合通信基盤局電気通信事業部料金サービス課
平成 24年 8月 大臣官房会計課
平成 26年 4月 特定個人情報保護委員会事務局総務課
平成 27年 8月 大臣官房秘書課
平成 29年 7月 大臣官房秘書課主査
平成 30年 8月 現職



叶えたい何かがある人、お待ちしております。

くらしの中にケーブルテレビ

私は現在、ケーブルテレビに関する制度の企画・立案や、それにかかる予算要求を担当しています。ケーブルテレビと聞いてあまりピンと来ないかもしれませんが、実はみなさんの生活にも深く根ざしているものなのです。(ここで詳しく説明するにはページが足りないのので、興味のある方はぜひ総務省の説明会にお越し下さい!)

昨年度、日本は西日本豪雨や台風上陸、北海道胆振東部地震など数々の災害にみまわれました。こういった大規模災害の際に、被災情報や避難情報など、国民の生命・財産の確保に不可欠な情報の伝達手段として地域に密着したケーブルテレビは大事な役割を果たしますが、ケーブルテレビネットワークが災害によって被害を受けた場合、その地域の方々に真に必要な情報が届かなくなる恐れがあります。そこで、上記の災害などをふまえ、総務省では、ケーブルテレビネットワークの耐災害性強化に資する光ファイバ化のための補助事業を行っています。

経験不問

私はこれまで通信、予算、人事担当を経て、現在ケーブルテレビ担当をしており、入省からさまざまな業務に携わってきました。情報通信分野と聞くと、入省前から技術的・専門的な知識が不可欠なのはと気になってしまうかと思いますが、そんなことはありません。かくいう私も教育学部出身のため情報通信の技術的な知識・経験なく入省しました(が、情報通信分野に特化した研修を受講したり、まわりの方々にサポートしていただいたりして、これまでやってこられました!)

社会に出れば、学生時代に学んでいないことに直面する場面ばかりだと思います。総務省に限らず言えますが、みなさんお持ちの各省庁へのイメージのみで絞らずに、さまざまな視点で就職先を選んで欲しいと思います。ただ、情報通信分野はみなさんの叶えたい何かを実現するための強力なツールになり得るものだと思いますので、叶えたい何かがある人は総務省の門を叩いてみてはいかがでしょうか。

Q 総務省職員のカラーは?

A 皆さんが抱く一般的な公務員のイメージといえば「おカタイ」、「融通がきかない」、「前例主義」などでしょうか。ですが、少なくとも情報通信行政を所管する総務省は違います。ICTを活用して日本をよりよい社会にしていこうと、「柔らかい頭」で、「社会の変化に柔軟に対応し」、新しい技術を社会に実装するべく「新しい取り組み」を楽しんで進んでいる人が多いと感じています。

Q ICT行政に求められる能力は?

A 新しい技術を楽しむ能力だと思います。私が入省した平成23年当時、スマホの普及率は3割ほどと言われていましたが、今ではガラケーの人を見つけるほうが難しいのではないのでしょうか。こういった社会の変化に対応するためにも、自らが新しい技術に興味を持ち、ユーザーになって楽しむことが大事なのではないかと思います。

Private Time

会計課時代の上司(当時、四国総合通信局情報通信部長。現在は近畿総合通信局情報通信部長。)に会いに、松山に行ってきました。総務省は全国に11の地方支分部局があり、全国に知り合いがいるといっても過言ではありません。

